

# 文学館だより



令和 8年 5月 1日  
若山牧水記念文学館  
TEL 0982-68-9511  
文 貴 日 高 第121号

## 第16回青の國若山牧水短歌大会 作品募集のお知らせ



### 募集部門

【一般の部 自由題、題詠『歌』】… 全国どなたでも応募できます  
【小・中・高校生の部】…………… 県内の児童生徒が応募できます

### 選者

【一般の部 自由題】 伊藤一彦（歌人、若山牧水記念文学館長）  
【一般の部 題詠『歌』】 大口玲子（歌人、第17回若山牧水賞受賞）  
【小・中・高校生の部】 大口玲子

### 応募締切

令和8年 7月31日（金）

### 表彰式

令和8年 12月12日（土）

詳細は、若山牧水ホームページ、およびInstagram等でご確認ください。  
57577の調べに乗せてどうぞご投稿ください。たくさんのご応募お待ちしております。  
老婆心ながら、生成AI技術に頼ることなく、くれぐれも未発表の自作短歌をお寄せください。  
過去、他の短歌大会入賞作品であったり、友人同士なのか一部だけを変えての投稿作品であったり、心傷む事例が発生しています。

昨年度の入賞作品より

葬式は来なくていいから施設には会いに来てねと友真顔なり

一般の部自由題佳作

過去間に黄色いフセンが増えて行く航空レーザー測量法規

高校生の部優秀賞

## 第25回牧水の里のつつじ祭り 今年も賑わいました



4月12日（日）、牧水公園において第25回牧水の里のつつじ祭りが開催されました（主催 牧水の里のつつじ祭り実行委員会）。

開花はまだまだ先ですが、晴天に恵まれ多くの来場者でした。今年も文学館では野点が行われ、自然の中で和をお楽しみいただける空間として開放され、展示室も終日無料開放し、ゆっくり見学していただきました。250個用意されたお菓子が早くもなくなり、午前中で終了してしまったのが残念でした。



そんな中注目したいのが、漬物屋梅香工房さんの出店と折り紙ワークショップです。

足を運んでくださるお客様に喜んでもらおうと、そして、文学館のPRにと、いつも模索してくださっています。

そして、今年の作品は…



季節にピッタリ  
こいのぼりでした



さらに、イベント会場にて『若山牧水を知ろうクイズ』を実施しました。昨年に続き2回目の参戦で今年は二者択一方式で答えてもらいました。

第1問 「1番」 「若山牧水は坪谷小学校に**入学**して坪谷小学校を卒業した。」

「2番」 「若山牧水は坪谷小学校に**転入**して坪谷小学校を卒業した。」

正解は2番なのですが、1番に流れる方々があまりにも多く、第1問で強制終了かと慌ててしまいました。7問出題して、全問正解者は3名でした。



←問題を聞いて、2番に移動している参加者。

→今年は、ボランティアとして東郷学園中学部の生徒たちが初参加。



# 朗読と篠笛で綴る 若山牧水の世界 聴き入りました

声優、舞台俳優として活躍の池田知聡（ともあき）さんと篠笛奏者物部聖子（ものべさとこ）さんの「若山牧水の世界」に出かけました。

池田さんは、牧水随筆『おもひでの記』から「庭梅」「坪谷村」など数節を朗読され、物部さんは牧水つながりで、「悲しい酒」や延岡市の「ばんば踊り」、牧水が好きだったという「伊那節」などを演奏されました。



朗読 池田知聡さん  
篠笛奏者 物部聖子さん

4/20（月）  
イオンモールアイカルチャーセンターにて

FM ひゅうが番組内で「牧水の歌」を長年担当している池田さんの声と、文学館を見学くださったことのある物部さんの篠笛の音に聴き入りました。次は文学館を会場に再演されることを願っています。終了後には、沼津から宮崎に引っ越して来たという方に声をかけてもらったり、来場者の一人は翌火曜日、文学館に来てくださったことでした。

行ってよかった♡池田さん、物部さん、ありがとうございます。

# 講座生募集!! ご応募お待ちしております

「伊藤一彦短歌実作講座」 (中級者・上級者コース)	「短歌実作基礎講座」 (初級者コース)
<b>開催日</b> ① 6月17日（水）13:30～16:20 日向市中央公民館 ② 8月19日（水）13:30～15:30 日向市中央公民館 ③ 11月18日（水）14:30～16:30 日向第一ホテル	<b>開催日</b> ① 7月 7日（火）13:30～16:00 日向市中央公民館 ② 8月18日（火）13:30～16:00 若山牧水記念文学館 ③ 11月10日（火）13:30～16:00 若山牧水記念文学館 ④ 1月12日（火）13:30～16:00 日向市中央公民館 ⑤ 2月 9日（火）10:00～12:00 日向第一ホテル
<b>申し込み締切</b> 5月20日（水）	<b>申し込み締切</b> 5月31日（日）

先月号でもご案内しましたが、講座内容、申し込み等詳細につきましては、こちらをご覧ください。若山牧水のふるさとで短歌を詠んでみませんか。多くの方のご応募をお待ちしています。



ホームページ



Instagram

# 牧水先生の一首 折に触れて出会う一首を紹介しています

海青しその青かるがひたぶるに荒ぶを見つ<sup>あか</sup>つ紅む御頬よ

うみあおし そのあおかるが ひたぶるに あらぶをみつつ あかんみほほよ

この歌は、明治41年に詠まれているが、歌集には収録されていない。牧水は青と白を好み多くの歌を詠んでいるが、この歌には「海の青」と「赤らむ頬」が描かれている。鮮やかな色の対比が目にとまり今月の一首とした。荒れ狂う海を見つめながら頬を紅潮させているのは、かつての恋人園田小枝子なのだろうか。

参照 『若山牧水全歌集 伊藤一彦編』

# 探しています

○ 日向市あくがれ広場にある「幾山河～」の牧水歌碑が日向市駅構内にあった当時の写真(動画)を探しています。ホーム、階段等が映っていて駅構内であることがわかる写真(動画)をお持ちの方、譲っていただけませんか。

# お知らせ

○ インスタグラムを始めました。覗いてみてください。ホームページ、フェイスブックとともに文学館の今を伝えていきます。